

平成 28年度
(2016年度)

認定看護師教育課程

募集要項



公益社団法人日本看護協会
看護研修学校

平成 28 年度（2016 年度）

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校
認定看護師教育課程

【認定看護師教育課程の特徴】

看護研修学校は学校教育法に基づく修業年限1年間の専修学校として設置されています。当課程は特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて看護実践ができ、他の看護職者のケア技術の向上に資する認定看護師を育成することを目的に充実した教育を行っています。認定看護師に期待される能力を習得できるよう充実した演習プログラムによる実践力強化を図るとともに、eラーニングシステムによる学習支援を行っています。

また当校のカリキュラムには学科交流プログラムとして7学科合同の共通科目やケースレポート発表会があり、他分野の認定看護師の役割を理解し、自身が目指す分野の専門性を見つめなおす機会となっています。本課程の学生は、各種奨学金制度の申請や各種交通機関等の学生割引が利用できます。

【修業年限】

1年

【募集学科】

救急看護学科
集中ケア学科
皮膚・排泄ケア学科
感染管理学科
糖尿病看護学科
小児救急看護学科
認知症看護学科

【募集人員】

各学科 30人

【年間予定】

平成28年	4月上旬	入学式
	4月上旬～8月	講義・演習
	8月～9月	臨地実習
	10月～11月上旬	ケースレポート作成・講義
	11月中旬	修了試験
	11月下旬～12月	課題学習・補講
平成29年	1月～3月	課題学習・補講
	3月	卒業式

目 次

I. 入学試験要項

1. 入学試験日程と会場 2
2. 出願資格 2

II. 出願手続

1. 募集要項及び出願書類請求方法 3
2. 願書受付期間 3
3. 出願書類 (写真) 3
4. 出願方法 3
5. 入学検定料 3
6. 受験票の発行 4
7. その他 4

III. 合格発表 4

IV. 入学手続等

1. 納付金 4
2. その他 4

V. 学科別選抜要項及びカリキュラム概要

1. 救急看護学科 5
2. 集中ケア学科 6
3. 皮膚・排泄ケア学科 7
4. 感染管理学科 8
5. 糖尿病看護学科 9
6. 小児救急看護学科 10
7. 認知症看護学科 11

I. 入学試験要項

1. 入学試験日程と会場

1) 日程／内容

	平成 27 年 11 月 24 日 (火)、平成 27 年 11 月 25 日 (水)	
筆記試験Ⅰ	9 : 00 ~ 10 : 30	専門科目 (90 分)
筆記試験Ⅱ	11 : 00 ~ 12 : 00	小論文 (60 分)
面接試験	13 : 00 ~	1 人 8 分程度
学 科	• 各学科とも受験日は 1 日のみです。 • それぞれの学科の受験日は受験票発送時にお伝えするとともに、 10 月 14 日にホームページ上でお知らせしますのでご確認ください。 http://www.nurse.or.jp/nursing/education/nintei/	

2) 試験会場（駐車場なし、公共交通機関を利用のこと）

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校
東京都清瀬市梅園 1-2-3（地図は裏表紙に記載）
TEL : 042-492-7464 FAX : 042-492-7213

3) 試験当日持参するもの ①受験票 ②筆記用具（詳細は受験票送付時同封）

2. 出願資格

受験申請にあたっては、次の各項に定める要件をすべて満たしていること。

- 1) 高等学校もしくはこれに準ずる学校を卒業した者、または文部科学大臣の定めるところによりこれに準ずる学力があると認められた者
- 2) 日本国の看護師免許を有する者
- 3) 看護師免許を取得後、通算 5 年以上^{注1)}の実務研修^{注2)}をしていること
- 4) その他 5 ページ以降にある学科別選抜要項に示す看護分野の実務研修^{注3)}を有すること

注1) 平成 27 年 8 月末で看護実務経験が 60 か月以上であることを意味する。

注2) 実務研修とは、看護実務経験を意味する。2007 年 7 月に認定看護師が厚生労働省によって専門性の広告を認可された際、認定看護師の要件に実務研修という表現を使うことが決定した。

注3) 学科別要件で指定されている看護実務経験を意味し、通算 3 年以上必要となる。ただし、通算 3 年以上とは、平成 27 年 8 月末で通算 36 か月以上を意味する。

Ⅱ. 出願手続

1. 募集要項及び出願書類請求方法

募集要項及び出願書類一式の請求方法は、以下の2通りがある。

- 1) ホームページからダウンロード
http://www.nurse.or.jp/nursing/education/nintei/
(平成27年6月中旬公開予定)
- 2) 郵送による請求
下記を総務管理部教務課宛に送付
・郵便小為替500円(無記名)
・返信用封筒(A4サイズ、400円切手貼付、住所・氏名明記)

2. 願書受付期間

平成27年9月1日(火)～9月30日(水)(当日消印有効)

3. 出願書類(写真)

出願書類で使用する履歴書用写真(1枚)及び受験票用写真(2枚)は、3枚とも同じものを使用すること。

4. 出願方法

封筒の表に、と明記の上、簡易書留で下記まで郵送すること。

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課

5. 入学検定料

- 1) 検定料
50,000円
- 2) 振込先
金融機関名：三井住友銀行 支店名：東京公務部
預金種目：普通 口座番号：0163544
口座名義：公益社団法人日本看護協会看護研修学校認定教育口
ニ ホンカン ゴ キョウカイカン ゴ ケンシュウガクコウニンテイキョウイクグチ
- 3) 振込依頼人名
以下の順に入力すること
(1) 受験学科(数字で記入、右表参照)
(2) 受験申込者名
(3) 日中連絡がとれる電話番号(ハイフン不要)

例：清瀬太郎さん(090-1111-2222)が小児救急看護学科を受験する場合、振込依頼人名の記入は「6キヨセ タロウ 09011112222」となる。

受験学科	記入番号
救急看護	1
集中ケア	2
皮膚・排泄ケア	3
感染管理	4
糖尿病看護	5
小児救急看護	6
認知症看護	7

4) 注意事項

- ・上記金融機関への振込に限る（振込手数料は受験者負担）。
- ・既納の入学検定料は原則として返還しない。
- ・銀行で発行される利用明細書をもって本校の領収書とする。

6. 受験票の発行

出願書類を審査の上、受験が認められた者に10月中旬に受験票を郵送する（簡易書留）。
10月22日（木）までに受験票が届かない場合は、総務管理部教務課へ連絡すること。

7. その他

出願書類により取得した個人情報 は 厳重に管理され、入試業務のために利用し、それ以外の目的に利用することはない。

Ⅲ. 合格発表

以下の方法にて行う。電話やFAXでの合否の問い合わせは受付けない。

- ・本人宛に12月中旬に郵送で通知する。
- ・日本看護協会公式ホームページにて受験番号を発表する。

Ⅳ. 入学手続等

1. 納付金

- 1) 入学金：会員 50,000円、非会員 75,000円
授業料：会員 700,000円、非会員 1,050,000円

※上記、入学金及び授業料は平成27年度実績のため、平成28年度以降は変更になる場合がある。

- 2) 納付金は全納のみとする。
3) 既納の納付金は原則として返還しない。

2. その他

詳細は合格通知時に案内する。

◆入学試験問題の公開について

本課程では、日本看護協会公式ホームページの「JNA-会員ダイレクト」サイト内 (https://direct.nurse.or.jp/jna_system/JNA_ninsyou.asp) で、筆記試験の問題を公開しています。平成27年度の入学試験問題は平成27年4月～28年3月まで閲覧可能です。

会員以外の方で閲覧を希望する場合は公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課まで電話でお問い合わせください。 TEL：042-492-7464

V. 学科別選抜要項及びカリキュラム概要

1. 救急看護学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算 3 年以上、救急部門での看護実績を有すること。 2) 救急部門において、CPA・重症外傷・意識障害・呼吸不全・循環不全・中毒・熱傷患者等の看護の中から 5 例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、救急部門で勤務していること、または救急部門での勤務が予定されていること。	
出願書類	1) 入学願書 (様式 1) 2) 履歴書 (様式 2) 3) 実務研修報告書 (様式 3- 救) 4) 勤務証明書 (病院長あるいは看護部長が発行したもの) (様式 4) 5) 救急看護事例実績証明 (様式 5- 救 1) 救急看護事例要約 (様式 5- 救 2) 6) 受験票 (様式 6) 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル (合否結果送付用) (様式 7) 8) 看護師免許証の写し (A4 判に縮小したもの) 9) 受験票郵送用封筒 (長形 3 号封筒 120 × 235mm、392 円切手貼付、住所・氏名明記)	
試験内容	専 門 科 目	・解剖生理、生体侵襲、フィジカルアセスメント等に関する基本的知識を問う。 ・救急患者の病態と治療、ケア等に関する専門的知識を問う。 ・看護展開や問題解決に必要となる論理的思考を問う。
	小論文	・看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ①救急医療における患者とその家族の QOL 向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
- ②救急看護分野において看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム (予定)

共通科目 150 時間		専門基礎科目 120 時間		専門科目 150 時間		演習 165 時間		実習 225 時間	
看護管理	15	救急看護概論	30	救急患者の		演習	165	実習	225
リーダーシップ	15	救急患者の主要病態と治療	30	フィジカルアセスメント	60				
文献検索・文献講読	15	救急患者と家族の		救急看護技術	75				
情報管理	15	心理・社会的アセスメント	30	急性症状とケア	15				
看護倫理	15	災害急性期看護	30						
指導	15								
相談	15								
対人関係	15								
臨床薬理学	15								
医療安全管理	15								
総時間数 810 時間									

集中ケア学科

2. 集中ケア学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算3年以上、集中ケア部門、または小児集中ケア部門（手術室・NICUは除く）での看護実績を有すること。 2) 疾病、外傷、手術などにより高度に侵襲を受けた患者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、集中ケア部門で勤務していることが望ましい。	
出願書類	1) 入学願書（様式1） 2) 履歴書（様式2） 3) 実務研修報告書（様式3-集） 4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4） 5) 集中ケア事例実績証明（様式5-集） 6) 受験票（様式6） 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7） 8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの） 9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）	
試験内容	専 門 科 目	・生命の危機状態にある患者の看護に必要な呼吸・循環・脳神経・代謝等に関する基礎知識を問う。 ・生命の危機状態にある患者の病態、治療、看護に関する専門知識を問う。 ・生命の危機状態にある患者の事例から、看護実践に必要な知識及び思考を問う。
	小論文	・看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 生命の危機状態にある患者（急性かつ重篤な患者）及びその家族に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護実践ができる能力を育成する。
- ② 生命の危機状態にある患者及びその家族の看護について、他の看護者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目 150時間	専門基礎科目 105時間	専門科目 165時間	演習 210時間	実習 180時間
看護管理 15	集中ケア看護概論 30	病態とケア 90	演習 210	実習 180
リーダーシップ 15	集中ケアにおける アセスメント概論 30	集中ケア看護技術 75		
文献検索・文献講読 15	集中ケアにおける安全管理 15			
情報管理 15	集中ケアにおけるコミュニ ケーションとマネジメント 15			
看護倫理 15	集中ケアにおける臨床薬理 15			
指導 15				
相談 15				
対人関係 15				
臨床薬理学 15				
医療安全管理 15				
総時間数 810時間				

3. 皮膚・排泄ケア学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算3年以上、外科系領域またはストーマケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域での看護実績を有すること。 2) ストーマ造設患者の看護を1例以上、及び創傷または失禁ケア領域の看護を4例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、創傷ケア、ストーマケア、または失禁ケアを行う病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。
出願書類	1) 入学願書（様式1） 2) 履歴書（様式2） 3) 実務研修報告書（様式3-皮） 4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4） 5) 創傷・失禁ケア事例実績証明（様式5-皮1） ストーマケア事例要約（様式5-皮2） 6) 受験票（様式6） 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7） 8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの） 9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）
試験内容	専 門 科 目 ・ 創傷ケアに関連した皮膚の解剖生理、創傷治癒過程、褥瘡管理、下肢創傷管理などについての知識を問う。 ・ ストーマケアに関連した消化器・泌尿器に関する解剖生理、ストーマ装具についての知識を問う。 ・ 失禁ケアに関連した排尿・排便のメカニズム、失禁のタイプなどについての知識を問う。 ・ 慢性創傷患者、ストーマ保有者、排泄障害患者の事例に関する看護展開を問う。
	小論文 ・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 創傷管理及び排泄管理を要する患者とその家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
- ② 皮膚・排泄ケア分野領域において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目 150時間	専門基礎科目 60時間	専門科目 225時間	演習 150時間	実習 225時間
看護管理 15	皮膚のアセスメントとケア 30	皮膚・排泄ケア概論 15	演習 150	実習 225
リーダーシップ 15	精神面のアセスメントとケア 15	排便機能に破綻をきたす病態の理解と評価 30		
文献検索・文献講読 15	栄養のアセスメントと管理 15	排尿機能に破綻をきたす病態の理解と評価 30		
情報管理 15		ストーマケア 30		
看護倫理 15		排泄ケア 30		
指導 15		創傷の病態と治療 30		
相談 15		創傷アセスメントと管理 60		
対人関係 15				
臨床薬理学 15				
医療安全管理 15				
総時間数 810時間				

感染管理学科

4. 感染管理学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	<p>1) 通算3年以上、感染管理に関わる下記のような活動実績を有すること。最新知見や自施設のサーベイランスデータ等に基づいて、自身が中心となって実施したケアの改善実績を1事例以上有すること。医療施設において、医療関連感染サーベイランス（血流感染、尿路感染、肺炎、手術部位感染）について計画から実施・評価まで担当した実績を1事例以上有することが望ましい。</p> <p>2) 現在、医療施設等において、専従または兼務として携わっていることが望ましい。</p>	
出願書類	<p>1) 入学願書（様式1）</p> <p>2) 履歴書（様式2）</p> <p>3) 実務研修報告書（様式3-感）</p> <p>4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4）</p> <p>5) 感染予防・管理の活動実績事例要約（様式5-感）</p> <p>6) 受験票（様式6）</p> <p>7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7）</p> <p>8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの）</p> <p>9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）</p>	
試験内容	専 門 科 目	<p>・「感染管理学」「疫学と統計学」「微生物・感染症学」「洗浄・消毒・滅菌とファシリティ・マネジメント」「医療管理学」「職業感染管理」「侵襲的医療器具や処置に関連する医療関連感染の防止技術」「医療関連感染サーベイランス」等、医療関連感染予防と管理に関する基礎的知識を問う。</p> <p>・「侵襲的医療器具や処置に関連する医療関連感染の防止技術」「職業感染」など、設定状況における感染管理活動の展開能力を問う。</p>
	小論文	・看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ①医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、専門的知識と高度な技術に基づいて医療関連感染の予防と管理を実践できる能力を育成する。
- ②医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について指導できる能力を育成する。
- ③医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの相談に対応し、問題解決に向けた支援ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目 150時間		専門基礎科目 120時間		専門科目 120時間		演習 240時間	実習 180時間
看護管理	15	感染管理学	15	医療関連感染サーベイランス	45	演習 240	実習 180
リーダーシップ	15	疫学と統計学	30	感染防止技術	30		
文献検索・文献講読	15	微生物・感染症学	60	職業感染管理	15		
情報管理	15	医療管理学	15	感染管理指導と相談	15		
看護倫理	15			洗浄・消毒・滅菌と	15		
指導	15			ファシリティ・マネジメント			
相談	15						
対人関係	15						
臨床薬理学	15						
医療安全管理	15						
総時間数 810時間							

5. 糖尿病看護学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算3年以上、糖尿病患者の多い病棟、または外来での看護実績を有すること。 2) インスリン療法を行っている糖尿病患者または合併症のある糖尿病患者の看護を、合わせて5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、糖尿病患者の多い病棟・外来・在宅ケア領域で勤務していることが望ましい。	
出願書類	1) 入学願書（様式1） 2) 履歴書（様式2） 3) 実務研修報告書（様式3-糖） 4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4） 5) 糖尿病看護事例実績証明（様式5-糖1） 糖尿病看護事例要約（様式5-糖2） 6) 受験票（様式6） 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7） 8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの） 9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）	
試験内容	専 門 科 目	・糖尿病看護の展開に必要な病態・生理、治療及び診断、患者・家族の理解及び指導についての基礎的知識を問う。 ・糖尿病患者の事例に関する看護展開を問う。
	小論文	・看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 糖尿病を抱え生活をする患者とその家族や重要他者のQOL向上に向けて、悪化を防ぎ、病期に応じた健康な生活が継続でき、発症予防においても貢献できる水準の高い看護を実践する能力を育成する。
- ② 糖尿病看護分野において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目 150時間		専門基礎科目 120時間		専門科目 105時間	演習 210時間	実習 225時間
看護管理	15	糖尿病ケア概論	15	ライフステージに応じた	演習 210	実習 225
リーダーシップ	15	疾病及び治療方法の理解	45	生活調整・療養支援		
文献検索・文献講読	15	患者及び家族・重要	30	治療法と生活調整・	45	
情報管理	15	他者などの対象理解		療養支援		
看護倫理	15	援助方法	30	合併症の病期に応じた	45	
指導	15			生活調整・療養支援		
相談	15					
対人関係	15					
臨床薬理学	15					
医療安全管理	15					
総時間数 810時間						

小児救急看護学科

6. 小児救急看護学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算3年以上、救急看護分野または小児看護分野での看護実績を有すること。 2) 小児救急患者・家族の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、救急看護または小児看護に携わっていることが望ましい。	
出願書類	1) 入学願書（様式1） 2) 履歴書（様式2） 3) 実務研修報告書（様式3-小） 4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4） 5) 小児救急看護事例実績証明（様式5-小） 6) 受験票（様式6） 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7） 8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの） 9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）	
試験内容	専 門 目 的	・小児の成長発達、解剖・生理、小児に関する統計など、小児看護に必要な基礎知識を問う。 ・小児救急医療体制や小児保健・児童福祉に関する基礎知識を問う。 ・小児救急医療に関連する疾患や症状、虐待などに関する専門的知識及び看護実践に対する思考を問う。
	小論文	・看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 小児救急医療における子どもと家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践する能力を育成する。
- ② 小児救急看護分野において、看護実践を通して他の看護職者に対して指導ができる能力を育成する。
- ③ 小児救急看護分野において、看護実践を通して他の看護職者に対して相談対応・支援ができる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目	150 時間	専門基礎科目	120 時間	専門科目	165 時間	演習	150 時間	実習	225 時間
看護管理	15	小児救急看護概論	15	小児救急における病態と看護技術	60	演習	150	実習	225
リーダーシップ	15	子どもの権利と社会資源	15	小児救急におけるトリアージ	15				
文献検索・文献講読	15	子どもの成長発達	30	子どもの事故と予防	30				
情報管理	15	小児救急における薬の知識	15	小児救急における家族への看護	15				
看護倫理	15	子ども・家族への接近法	15	病気の予防とホームケア	15				
指導	15	子どもの虐待	30	救命技術指導	15				
相談	15			災害における子どもへの看護	15				
対人関係	15								
臨床薬理学	15								
医療安全管理	15								
総時間数				810 時間					

7. 認知症看護学科

1) 選抜要項

実務研修 内容	1) 通算3年以上、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等での看護実績を有すること。 2) 認知症者の看護を5例以上担当した実績を有すること。 3) 現在、認知症者の多い医療・福祉施設（在宅ケア領域を含む）等で認知症者の看護実践に携わっていることが望ましい。	
出願書類	1) 入学願書（様式1） 2) 履歴書（様式2） 3) 実務研修報告書（様式3-認） 4) 勤務証明書（病院長あるいは看護部長が発行したもの）（様式4） 5) 認知症看護事例実績証明（様式5-認1） 認知症看護事例要約（様式5-認2） 6) 受験票（様式6） 7) 入学検定料銀行振込控え貼付票、宛名ラベル（合否結果送付用）（様式7） 8) 看護師免許証の写し（A4判に縮小したもの） 9) 受験票郵送用封筒（長形3号封筒120×235mm、392円切手貼付、住所・氏名明記）	
試験内容	専 門 科 目	・ 老年期の特性、認知症の病態・治療、保健・医療・福祉制度に関する基礎的知識を問う。 ・ 認知症看護に関する専門的知識を問う。 ・ 現場で遭遇するであろう認知症ケアの問題状況について、看護の視点でのアセスメント、プラン立案、実施、評価についての思考を問う。
	小論文	・ 看護に対する考え方、論理的思考を問う。

2) カリキュラム概要

(1) 教育目的

- ① 認知症者とその家族の支援に関する最新の知識と技術を習得し、水準の高い看護実践ができる能力を育成する。
- ② 培った認知症看護の専門的な知識と技術を活かし、看護職に対して指導・相談できる能力を育成する。
- ③ あらゆる場において、認知症者の生命、生活の質、尊厳を尊重したケアを看護職や他職種と協働して提供できる能力を育成する。

(2) カリキュラム（予定）

共通科目 150時間		専門基礎科目 90時間		専門科目 150時間	演習 195時間	実習 225時間
看護管理	15	認知症看護原論	15	認知症看護倫理	演習 195	実習 225
リーダーシップ	15	認知症基礎病態論	15	認知症者とのコミュニ ケーション		
文献検索・文献講読	15	認知症病態論 (認知症の原因疾患と治療)	45	認知症看護援助方法論Ⅰ (アセスメントとケア)		
情報管理	15	認知症に関わる保健・ 医療・福祉制度	15	認知症看護援助方法論Ⅱ (生活・療養環境づくり)		
看護倫理	15			認知症看護援助方法論Ⅲ (ケアマネジメント)		
指導	15			認知症者の家族への支援・ 家族関係調整		
相談	15					
対人関係	15					
臨床薬理学	15					
医療安全管理	15					
総時間数 810時間						

試験会場案内

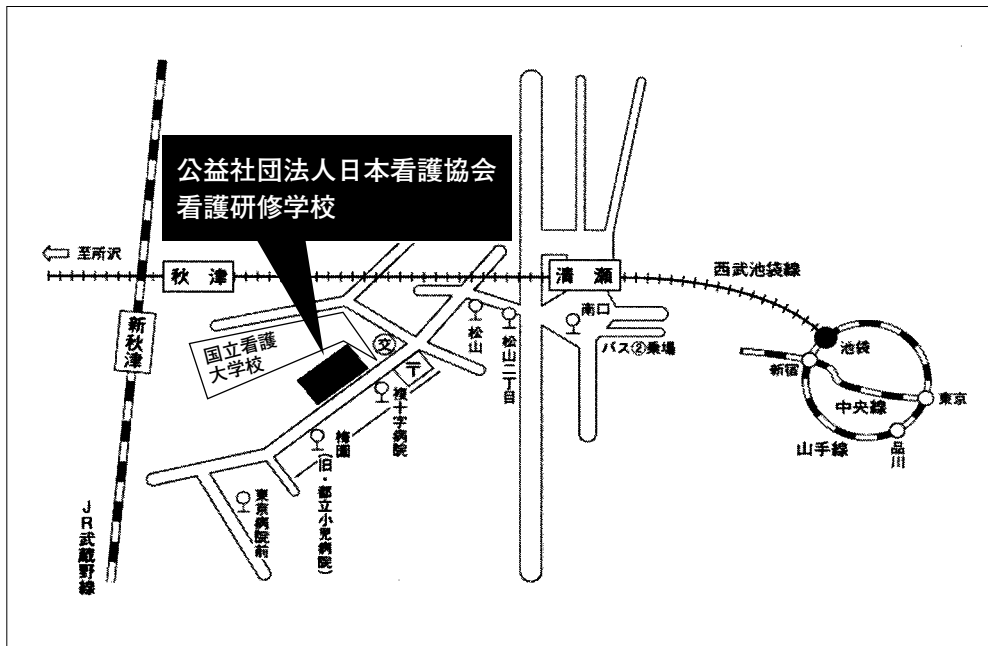
◎場所

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校（〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3）

駐車場なし、公共交通機関を利用のこと

◎アクセス方法

- 1) 西武池袋線利用の場合
清瀬駅下車、南口より
 - ・徒歩 15分
 - ・西武バス②番乗り場から乗車（全てのバス利用可）、「複十字病院」下車徒歩 1分
 - ・タクシー 5分
- 2) JR 武蔵野線利用の場合
新秋津駅下車、タクシー 10分



入試に関する問い合わせ

公益社団法人日本看護協会 看護研修学校 総務管理部教務課

〒204-0024 東京都清瀬市梅園 1-2-3

TEL：042-492-7464 FAX：042-492-7213